

Voice 社員の声



シニアコンサルタント
宮 康貴 さん
Myu Koki

【持っている資格】
裏千家専任講師、TOEIC 960点
【得意な分野】
金融、国際機関連携
【好きな国や地域】
ラオス、カンボジア

Q この業界の魅力は？

A 将来の日本と次世代に
つながる役立つ仕事

東日本大震災でのボランティアを通じ、多くの開発途上国が日本を支援していることを知りました。日本の国際協力への恩返しとして「今度は私たちが何かしたい」という途上国の思いに触れ、心を打たれました。いま取り組んでいることが次世代の支えになると信じ、日々仕事に向き合っています。

Q この業界を選んだ
きっかけは？A 日本企業の海外展開支援と
公的部門の課題への対応

新卒でJICAに入籍し、在籍中に財務省や国際開発金融機関のアジア開発銀行（ADB）などに出向・勤務しました。その経験から海外展開を目指す日本企業支援や民間資金の動員促進を、さまざまな援助機関を活用する立場で貢献したいと思い、コンサルティングファームへの転職を決意しました。

Q 仕事の内容は？

A 日本企業の海外事業支援と
国際機関の活用促進に注力

新しくサステナビリティ・ビジネスをアジア・大洋州地域で立ち上げたいという日本企業に対し、資金計画を含め、その戦略づくりをサポートしました。また、世界銀行やADBなどの活用オプションを日本企業に周知し、これまで弱かった国際機関と民間をつなぐ活動にも注力しています。

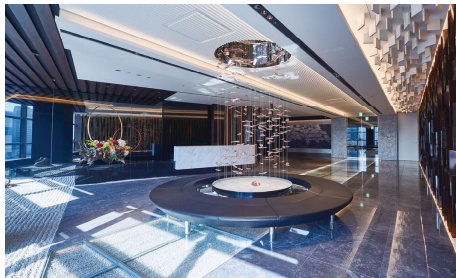
Q この会社の魅力は？

A 専門性を補い合いながら
チームで取り組む業務体制

途上国ビジネス支援を専門とするチームがあるところ。メンバーの専門性もジェンダー、環境など多様で、しかもそれぞれが補い合いながらチームでJICAの調査、民間企業支援、国際機関との連携などに取り組んでいます。福利厚生も充実しており、社員に裁量を認め、働きやすい職場環境です。

Q 学生のときに
やっておくべきことは？A 自分なりに調べ
考えられる力を養っておく

私自身も学生時代は不安を覚えていましたが、今振り返ってみると、英語など語学の勉強に過度に時間を費やし過ぎる必要はないと感じています。語学力よりも大切なのは「何を」言うのかということです。何か関心があることがあれば、自分なりに調べ、体験し、考えられる力を養っておくことです。



日本の伝統美と現代の日本文化をテーマとした本社エントランス

Info 企業情報

設立	2009年7月1日
従業員	1,200人
本社	〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイスイーストタワー11F
Tel	03-3517-2292
Mail	新卒採用: recruit@fortience.com キャリア採用: career@fortience.com

採用ページはこちら！

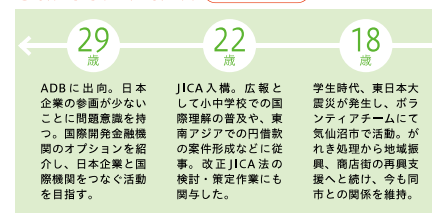


新卒採用



キャリア採用

Career Path キャリアパス



FORTIENCE フォーティエンスコンサルティング 株式会社

CONSULTING (旧・株式会社クニエ)



セミナー登壇時の様子

途上国・新興国の社会課題解決型ビジネスを支援

NTTデータグループのコンサルティングファームであるクニエは、2025年10月1日付で「フォーティエンスコンサルティング(株)」に社名を変更した。社名のFortience(「オージェン」は「Foreight(先見性)・Fortitude(不屈の精神)・Intelligence(知性)・Experience(経験)」を組み合わせた造語で、「未来を洞察し、不屈の精神で成果を残す」として、顧客と社会に向けた想いを込めたものだ。急激な世界情勢の変化やデジタル技術の発展が進む変革期に、顧客の将来を描き、その実現を支えるコンサルティング・サービスを提供する。

伴走型で途上国のビジネス支援

同社は経営・ビジネス領域を対象に、常に変化するニーズを先行的にとらえ、質の高いサービスを提供するため、「製造」「消費財」「流通」「小売」「通信・メディア」「金融」「ヘルスケア」「公共/地方創生」などの産業ラインを横軸に、「戦略」「業務」「デジタル」などのソリューションラインを縦軸に据え、それぞれ少数精鋭のチームを編成。充実したサービスの提供に努めている。

近年注目を集める途上国・新興国での社会課題解決型ビジネスにも粘り強く取り組んでおり、専門チームの「途上国ビジネス支援担当」を設置。途上国・新興国でのビジネス展

開を目指す民間企業のよきパートナーとして、強力でサポートしている。支援領域は、①途上国・新興国の社会課題と技術のマッチング支援、②国際機関や国際開発金融機関、日本政府と協働するビジネススキーム構築・実行支援、③途上国の経済・社会の発展に資するコンサルティング・サービスなど。チームを統括するマネージングディレクターの平林潤氏は「公益性の高い途上国ビジネスは、日本政府や国際機関、開発金融機関などさまざまなステークホルダーとの協働が重要。従来型のコンサルティングの殻を破り途上国ビジネスを成功に導きたい」と話している。

途上国・新興国に関する専門的な知見を背景に、近年は国際協力機構(JICA)の調査や事後評価などでも実績を積み上げており、注目される。開発資金の多角化が時代の要請になるなか、同社の案件形成、資金調達の支援などにも期待が高まる。

Ⅱ巻頭特集20ページに関連記事

新卒とキャリア採用を実施

採用は新卒とキャリア採用の2本。キャリア採用は「地方創生」や「途上国・新興国ビジネス」など多様な人材を求めている。大卒以上、実務経験3年以上が要件となる。

入社後のキャリアパスは「マネジメンツバズ」と「スペシャリストパス」を用意。会社が責任を持って育成していく体制が整っている。